

大人の発達障がい

問い合わせ

健康福祉総務課 ☎ 1610



のむらようへい
廿日市野村病院 野村 陽平 先生
(佐伯地区医師会)

日本では10人に1人が生まれつき脳の働きに違いがあることで、対人関係や勉強などに難しさが出る発達障がいの傾向があるといわれています

なぜ、発達障がいの人が増えているのでしょうか。この理由は社会の変化です。効率化、改革、繰り返す変化に対応する適応力や創造性が主眼となり、職場の人数は可能な限り減り、個々に求められる仕事の種類と量が増え、自分に適する職場を求め転職する時代となりました。教育機関も個人の考え、主体性、多様性を重視する内容に変化し、膨大な働き方の中から自分で選び、選んだ仕事が合わなければ、自分で次を考え選択し、決断する能動性が必要になりました。

大人になってから分かる発達障がい

核家族化により多角的に意見を聞ける機会も減り、プライベートも同じく自己選択、個性を必要とすることが増えました。発達障がいの方は、今の時代に必要な変化に合わせた適応や突発的な対応力、能動性が苦手です。程度が軽くても、苦手なことを求め続けられる環境では支障が出てくるのは当たり前で、本人の気持ちに余裕がなくなるとより特徴が浮き出てきて、周りとの協調がうまくいかず、生活に支障が出ます。その結果、発達障害と診断される人が多いと近年認識されています。それが「大人の発達障がい」として浮き出ます。



発達障がいの程度にはばらつきがあります

私も含め皆さん、自分は「正常」と言えるのでしょうか。社会は一人一人違う多様性の集団です。誰も発達障がいの特性を部分的に持ち、程度の濃さの違い、自分の特性に合った環境を選んでいるか、あるいは理解してくれる人が周りにいるかで、特性が浮き出るかは決まります。発達障がいの診断は、各能力にばらつきがあり、生活に支障があれば診断しますが、定型発達と発達障がいの境目はあいまいです。その人にかかるストレスによって、特性が強く現れたり、目立たなくなるのです。大人の発達障がいは、注意力や落ち着きのなさが特徴的なADHD（注意欠如・多動症）と人とのコミュニケーションの難しさや強いこだわりが特徴的なASD（自閉スペクトラム症）が中心ですが、両方合わせ持つことも多いです。

周りの人たちとコミュニケーションでうまくいかず悩んでいる場合

セルフチェックリストで自分の傾向を知る方法もあります。生活に支障がある場合は、廿日市市障がい福祉相談センターきらりあや市役所障害福祉課、精神科医療機関などに相談してみましょう。

大人の発達障がい・チェックリスト▼

武田薬品工業株式会社
ホームページ
生きづらさを、生きやすさに
大人の発達障害ナビ

